

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： CT ガイド下生検における術前 PET の有用性

研究の目的

悪性新生物が疑われた場合、診断や治療方針の確定のために腫瘍の生検を行い、病理組織を検討します。しかしながら生検にて腫瘍内の壊死や炎症の部位が採取されてしまうと、正しく診断を行うことができないことがあります。そのため、特に大きな腫瘍で術前の PET 撮影で高集積である部位を生検することが診断に有用であるかどうか検討します。

研究実施期間： 実施許可日 ~ 2026 年 3 月 31 日

対象となる方： 2015 年 9 月 1 日 ~ 2023 年 12 月 1 日までの間に悪性新生物が疑われ、附属病院放射線診断科にて PET の撮影、及び術前 CT ガイド下生検を受けた方。なお次に該当する症例を除き、放射線診断科が患者さんの診療に寄与すると判断した場合に利用させていただきます。約 50 症例を予定しております。

- ・ 附属病院以外にて PET 撮影が行われた症例。
- ・ 生検前 90 日を超えて PET が行われた症例。
- ・ 病理組織検査にて良性腫瘍および炎症など良性疾患と判断された症例。
- ・ PET および CT にて腫瘍の最大径が 40 mm 未満の症例。
- ・ その他、研究対象者として不適当と判断された症例。

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のサーバーに記録されている画像情報のうち、PET 画像、及び CT ガイド下生検時の CT 画像を、カルテに記録されている情報のうち、病理診断記録について、標記研究のために利用します。具体的には、PET 画像と CT ガイド下生検時の CT 画像、病理診断結果について比較・検討します。これにより、CT ガイド下生検における術前 PET の有用性について検討します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先

放射線診断科・対馬史泰 0172-39-5103/fmystshm@hirosaki-u.ac.jp